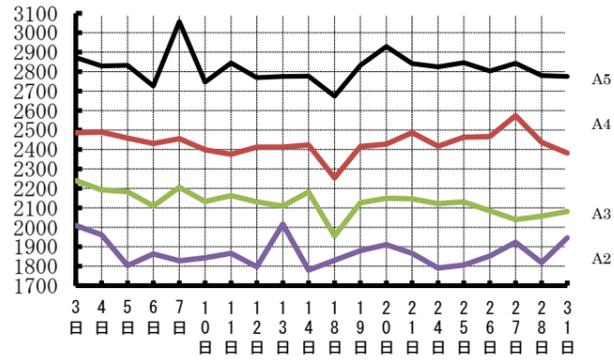


大動物事業部

<7月の相場動向>

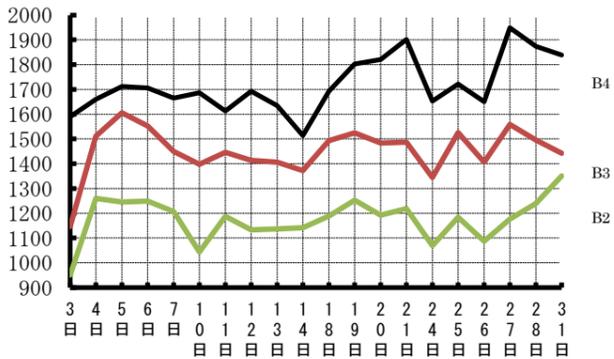
和牛去勢 A5 が前月比 17 円高の 2,835 円、同 A4 が 45 円安の 2,441 円、同 A3 が 57 円安の 2,127 円、同 A2 が 61 円安の 1,870 円となり交雑去勢は B4 が 4 円高の 1,717 円、同 B3 が 7 円安の 1,463 円、同 B2 が 36 円高の 1,186 円となった。堅調な外食需要やふるさと納税の返礼品需要等もあって和牛上物規格については価格を維持しているものの、量販店需要の落ち込みなどから荷動きは鈍い状態が続いており、全体的に弱含みの相場展開となった。

和牛去勢 日別相場表 (7月)



| 和牛去勢月平均 | 前年同月比 | 前月比 |
|------------|---------|----------|
| A5 2,835 円 | (99.2%) | (100.6%) |
| A4 2,441 円 | (95.0%) | (98.2%) |
| A3 2,127 円 | (88.4%) | (97.4%) |
| A2 1,870 円 | (85.9%) | (96.8%) |

交雑去勢 日別相場表 (7月)



| 交雑去勢月平均 | 前年同月比 | 前月比 |
|------------|---------|----------|
| B4 1,717 円 | (93.9%) | (100.2%) |
| B3 1,463 円 | (85.2%) | (99.5%) |
| B2 1,186 円 | (79.6%) | (103.1%) |
| 乳牛去勢月平均 | 前年同月比 | 前月比 |
| B3 上場なし | — | — |
| B2 937 円 | (91.2%) | (103.9%) |

<8月の牛肉輸入量予測>

財務省が発表した貿易統計による 6 月の牛肉輸入通関実績は前年比 27.4%増の 5 万 182t となった。うちチルドは 10.1%増の 2 万 3,365 t、フローズンは 47.6%増の 2 万 6,817 t で、この段階でフローズンの 17 年度累計輸入数量は 8 万 9,253t となり、SG 発動の要件のひとつである輸入基準数量を上回ったため 8 月 1 日より一部の国からの冷凍牛肉について SG 発動となった。農畜産業振興機構の予測による 8 月の牛肉輸入数量は SG 発動を前提としない予測値であったことから、公表を差し控えるとチルドのみの公表となり、前年同月比 10.9%増の 2 万 1,700t と予測している。

| 輸入牛肉通関量 | | 6月 | 前年同月 | 前年同月比 |
|---------|-----|--------|--------|--------|
| チルド | 豪州 | 10,412 | 10,930 | 95.3% |
| | 米国 | 11,944 | 9,410 | 126.9% |
| | その他 | 1,009 | 877 | 115.1% |
| 合計 | | 23,365 | 21,217 | 110.1% |
| フローズン | 豪州 | 14,877 | 9,640 | 154.3% |
| | 米国 | 7,873 | 5,854 | 134.3% |
| | その他 | 4,067 | 2,678 | 151.9% |
| 合計 | | 26,817 | 18,172 | 147.6% |

単位：t 出典：食肉速報

<8月の全国出荷頭数予測>

農水省の食肉流通統計による 6 月の成牛と畜頭数は、前年比 1.2%減の 8 万 2,057 頭となり、和牛は 1.5%減の 3 万 4,021 頭、交雑種は 10.4%増の 1 万 9,097 頭、乳用種は 7.4%減の 2 万 8,089 頭だった。

農畜産業振興機構による 8 月の出荷予測頭数は、前年同月比 1.5%減の 8 万 2,300 頭と予測している。品種別にみると和牛は、1.3%増の 3 万 3,900 頭、交雑種は 2.4%増の 1 万 8,200 頭、乳用種は 6.7%減の 2 万 8,900 頭と乳用種のみ減少と予測している。東京食肉市場の 8 月のと畜頭数は 6,900 頭を予定している。

<8月の牛枝肉相場見通し>

旧盆商戦による一定の販売が見込まれるが、主な取引、手当て買いなどは前月でほぼ終了しており、相場を引き上げる要因とはならずまた盆明けとともに末端の需要は鈍るため、後半にかけて相場は中だるみを見せると予測される。

| 和牛去勢 | 価格予測 | 交雑去勢 | 価格予測 |
|------|-------------|------|-------------|
| A5 | 2,700~2,800 | B4 | 1,650~1,750 |
| A4 | 2,350~2,450 | B3 | 1,300~1,400 |
| A3 | 2,050~2,150 | B2 | 1,050~1,150 |
| A2 | 1,800~1,900 | | |
| 乳牛去勢 | | | |
| B3 | 1,100~1,150 | | |
| B2 | 900~1,000 | | |

小動物事業部

食肉流通統計によると、6 月の全国と畜頭数は 131 万 2,456 頭と農林水産省の予測である 131 万 4,000 頭を若干下回ったものの前年同月比 106.0%の増加となった。

また、6 月分の豚肉通関実績は、総量で 8 万 67t (前年同月比 105.8%)と前年を上回った。チルドは 3 万 3,530t (同 108.1%)で内訳は、米国が 1 万 7,643t (同 96.0%)、カナダは 1 万 4,916t (同 128.0%)と大幅にシェアを拡大した。フローズンも 4 万 6,537t (同 104.2%)と前年を上回り、デンマークが 9,379t (同 103.2%)、スペインが 9,790t (同 130.9%)、メキシコが 6,227t (同 113.8%)とスペインが大きく伸び、チルドフローズンともに供給地に变化が起きている。

<7月の豚取引の推移>

| 上旬 | 全国と畜頭数 | 上物価格 | 中物価格 | 上場頭数 |
|----|--------|------|------|------|
| 3日 | 61,600 | 683 | 669 | 553 |
| 4日 | 63,900 | 695 | 657 | 695 |
| 5日 | 38,200 | 678 | 654 | 551 |
| 6日 | 64,200 | 665 | 642 | 571 |
| 7日 | 59,200 | 653 | 626 | 706 |

上旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 5 万 7,400 頭と前年並みの頭数であったが、当市場においては平均 615 頭と前年を下回る上場頭数となった。

集中豪雨による九州の大規模災害の影響もあり 5 日の全国頭数は 3 万 8,200 頭と大幅に落ち込んだ。枝肉相場はさらに上昇傾向にあり、部分肉相場も連動して全体的に引き合いは強く、締まった需給が続いている。引き続きスソ物の荷動きは堅調。

| 中旬 | 全国と畜頭数 | 上物価格 | 中物価格 | 上場頭数 |
|-----|--------|------|------|------|
| 10日 | 60,600 | 651 | 631 | 588 |
| 11日 | 61,800 | 642 | 624 | 789 |
| 12日 | 59,500 | 637 | 623 | 575 |
| 13日 | 61,100 | 638 | 631 | 576 |
| 14日 | 59,100 | 677 | 660 | 714 |
| 18日 | 70,300 | 703 | 682 | 516 |
| 19日 | 63,700 | 716 | 671 | 766 |

中旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 2,300 頭と前年をやや上回ったが、当市場の 1 日平均は 646 頭と前年を下回った。

18 日のと畜頭数は 7 万頭台となったが、連休明けの手当もあり、上物価格は 700 円と予想を大きく上回る相場となった。パーツの荷動きは、ロース、肩ロースなどのロイン系に引き合いが強まっており、特に肩ロースは引き合いが強い。一方、学校給食が中断し、スソ物については、特にモモの荷動きがやや鈍化傾向となっている。

| 下旬 | 全国と畜頭数 | 上物価格 | 中物価格 | 上場頭数 |
|-----|--------|------|------|------|
| 20日 | 62,800 | 683 | 644 | 669 |
| 21日 | 63,300 | 653 | 625 | 877 |
| 24日 | 60,300 | 625 | 599 | 731 |
| 25日 | 60,200 | 618 | 596 | 726 |
| 26日 | 57,300 | 619 | 600 | 578 |
| 27日 | 59,900 | 629 | 612 | 610 |
| 28日 | 60,800 | 658 | 647 | 627 |
| 31日 | 57,700 | 677 | 654 | 678 |

下旬の全国と畜頭数は、平均 6 万 200 頭と前年を下回った。当市場の上場頭数も平均 687 頭と前年を下回る上場頭数となった。

ロースや肩ロースの引き合いも落ち着き夏休みに入り学校給食がないことで、スソ物の動きも鈍化した。全国的に出荷頭数が少ないことから枝肉相場は堅調に推移し上物価格 610~680 円となった。

<8月の豚枝肉相場見通し>

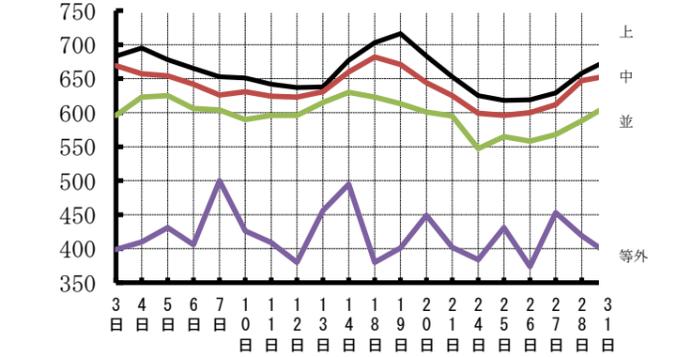
農水省による 8 月の全国と畜頭数は、133 万 2,000 頭 (前年同月比 100%)と予測しており、一日当たりの頭数は約 6 万 6,600 頭である。当市場の 8 月の集荷予定頭数は 1 万 5,000 頭となっており、一日当たりでは約 750 頭の見込みである。

農畜産業振興機構による 8 月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 7 万 2,300t (前年同月比 97.9%)、内訳はチルドが 3 万 700t (同 103.0%)、フローズンは 4 万 1,600t (同 94.4%)の予測である。

また、同機構による 5 月の豚肉推定期末在庫量は、国産品 1 万 7,797t (前年同月比 94.3%)と例年と比べて低いレベルとなっている。

8 月後半には学校給食再開に向け、スソ物の動きも堅調となることから、当市場の相場は上物平均価格で 600 円。中物平均価格は 570 円と予測する。

豚 日別相場表 (7月)



<<第2回 東京食肉市場豚枝肉共励会開催>>

平成29年8月25日(金)開催

平成29年度 東京食肉市場豚枝肉共励会が、来る8月25日に開催されます。出品頭数は1,000頭です。

出品者、買受人の皆様及び関係各位のご来場をお待ちしております。

出荷者の皆様へ
PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、防疫体制を強化しております。生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

東京都港区港南2-7-19
東京食肉市場株式会社
TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127
URL <http://www.tmmc.co.jp/>